

一般社団法人札幌青年会議所 2026 年度 理事長所信

第 75 代理事長 北島 善夫

【はじめに】

札幌青年会議所は、明るい豊かな社会を実現するため、先輩諸氏が築き上げてきた歴史と伝統を受け継ぎ、時代とともに変化する地域社会の課題解決に力強く運動を展開してきました。

しかし、私たちを取り巻く社会は、今まさに大きな転換期を迎えています。少子高齢化の進行は地域の人口構造を変え、次の世代を担う人財の減少を招いています。また、価値観の多様化や急速な技術革新は生き方を豊かにする半面、人と人との関わり方を変化させ、直接的な信頼関係を築くことをより困難にしています。

こうした環境の中にあっても、私たちは立ち止まることなく、未来を見据えて運動を展開していかなければなりません。市民や関係者からの信頼は一朝一夕に得られるものではなく、不断の努力と誠実な活動の積み重ねによって築かれます。そして、その信頼を基に、地域社会に価値ある成果を残し、メンバーが誇りを持って次の世代へとつないでいくことが重要です。

私たちは、「共栄と革新」を基盤とし、人と人とのつながりを大切に作る温もりをもって、変化を恐れず未来を切り拓き、子どもたちが夢と希望を抱ける札幌を創出してまいります。

大人が変われば、子どもが変わる
子どもが変われば、未来が輝く
青年会議所が運動を起こせば、社会は明るくなる

【75 年の歴史と伝統を、未来へつなぐ】

札幌青年会議所は、戦後の混乱が続く 1951 年、北海道の中心都市として復興を目指し、「このまちをより良いものにしたい」と願った 27 名の青年たちによって誕生しました。戦後の復興とともにまちは活気を取り戻し、その歩みとともに、私たちも歴史を重ねてまいりました。

しかし、時代が移り変わる中で、先輩諸氏の想いや設立の目的は、果たしてメンバーに行き渡っているでしょうか。

本年、札幌青年会議所は創立 75 周年という新たな節目を迎えます。先輩諸氏の並々ならぬ努力と、産学官民の理解と協力によって、今日の私たちがあります。この歩みに感謝を捧げるとともに、歴史と伝統を受け継ぐ私たちは、時代の変化を見据えながら、次の世代に誇れる運動を紡いでいかなければなりません。

先人の志を胸に、つながりを大切にし、まちとともに歩みを未来へ継いでまいります。

継承から創造へ
まちとともに歩む決意を、新たに

【信頼と持続可能な連携】

青年会議所の運動は、決して一組織の中だけで完結するものではありません。その真価は、志を同じくする仲間との連携、地域社会や他団体との信頼関係、そして全国、世界へと広がる信頼の輪によってこそ発揮されます。

その基盤の一つとして、国内においては、日本青年会議所、各地区協議会、各ブロック協議会、そして全国各地の青年会議所との連携がより良い運動を生み出す原動力です。これまで積み重ねてきた信頼を礎にしながら、その輪をより強く、より持続可能なものへと発展させていきます。

また、青年会議所は国際的組織であり、「若きリーダーの国際的ネットワークを先導する」というJCI Visionを掲げています。札幌青年会議所には、長年にわたり交流を深めてきた姉妹青年会議所の存在があります。文化・言語・価値観の違いを超えて学び合ってきたその関係は、同志としての誇りと信頼によって築かれてきました。協働によって国際的視野と多様な価値観を学ぶ機会を創出し、世界とつながる地域づくりを進めて、次の世代の挑戦を育み、世界が身近になる社会を実現してまいります。

つながりが運動を育て、信頼が未来を導く
出会いをつなぎ、次の世代へ

【挑戦がつなぐ次の世代の成長】

近年、社会の急速なデジタル化により、私たちの生活はかつてないほど便利で効率的なものとなりました。現代の子どもたちは、知識や技能を身につける機会には恵まれています。

しかし、学校における部活動の縮小や地域の交流機会の減少により、子どもたちが仲間と関わり合いながら社会性を育む環境は十分とは言えません。札幌市においても、部活動の参加率は年々減少しており、子どもたちが他者と関わり、挑戦を通じて成長する機会が少なくなっています。

便利さと効率が重視される今だからこそ、成果を超えて思いやりや協調性を育む環境を地域で支えていくことが大切です。人と関わり、心を育む機会は多様にありますが、その中でもスポーツは、文化や芸術、地域活動と同様に、人と人とのつながりを育み、共に学び合う貴重な場です。

私たちは、子どもたちが自らの可能性を信じ、挑戦を通して心を育む環境を地域全体で築いていきます。その挑戦の連鎖を次の世代へとつなげ、未来への希望を育むまちを目指します。

勝ち負けを超えて、人を育てる
それでも挑む価値を、子どもたちに

【人が自然と集まる組織】

札幌青年会議所が地域に根ざし、持続的に成長していくためには、新たな仲間との出会いが不可欠です。私が目指すのは、会員数の増加だけではなく、「この組織に関わりたい」と自然に思っただけの魅力ある存在であり続けることです。

しかし、会員拡大において重要なのは、組織の目的や存在意義を正しく伝え、共に志を持って歩む意識を育むことです。入会の段階からその本質を共有し、共感の輪を広げていくことが、結果として強い組織の礎となります。だからこそ、私たち自身が青年会議所の意義を深く理解し、その価値を自らの言葉で語れる存在でなければなりません。

そのためには、まず私たち自身が青年会議所の運動に誇りをもち、地域や仲間と真摯に向き合い、自己成長を楽しむ姿勢が重要です。一人ひとりの姿勢や言動こそが、地域や仲間と誇れる運動の証となり、「この人たちと共に挑戦したい」と思ってもらえるきっかけになります。私たちは、その想いを行動に変え、共感を広げながら札幌青年会議所の未来を力強く築いてまいります。

一つの出会いが、心をつなぐ
つながりの本質は、ともに想うこと

【心が響きあうまちづくり】

札幌の教育、文化、そして人と人とのつながりは、時代の変化とともにその姿を変えてきましたが、これまで紡がれてきた札幌の伝統にこそ、まちづくりの原点があります。

しかし、生活スタイルの多様化や利便性の追求が進む一方で、人と人とが直接ふれあい、心を通わせる時間が希薄になっていることも否めません。

私たちは、札幌で暮らす人々の想いをつなぎ、地域に根ざした温もりある環境を創出することで、共感と誇りに満ちたまちづくりを推進します。子どもたちの笑顔、家族の語らい、地域の誇り、そうした一つひとつの想いが重なり、まちに共感と連帯感が広がっていきます。

地域に蓄積された文化やつながりは、まちづくりの新たな可能性を育むと信じています。私たちは、そこに込められた想いを受け継ぎ、新たな発想や運動としてかたちにしてまいります。そして、まちに関わるすべての人々と想いを一つにし、人々の心が響きあう札幌の未来を築いてまいります。

文化は、まちの心であり、人のつながり
まちを彩る日常こそ、未来の礎

【惹きつける発信から共感が広まる】

札幌青年会議所は、未来を担う次の世代により良い地域を残すため、変化を恐れず挑戦を続けながら、社会課題の解決を目的とした運動を展開しています。

しかし、どれほど意義ある取り組みであっても、想いや背景が伝わらなければ、共感を得ることはできません。その本質を共有し、地域とともに歩む存在であり続けるために、私たちは伝わる広報、共感を生む広報へと深化させていく必要があります。事業の成果だけでなく、運動の背景にある課題や情熱まで伝えることができこそ、社会に共感を広げる広報へとつながります。

また、日々の情報共有や成果の可視化、学びの蓄積を通じて内なる理解と共感を深めることが、外部への力強い発信となります。私たちの歩みと想いを正しく、力強く社会に届けていくこと。それこそが「明るい豊かな社会」の実現に向けた確かな一歩となると信じ、誇りと責任をもって発信してまいります。

成果だけでなく、想いを届ける
一つひとつの言葉に、誠実さと想いを込めて

【誠実な運営が、まちに信頼をつなぐ】

札幌青年会議所の運動は、情熱や想いだけで成し得るものではありません。組織としての透明性と健全性を保ち、公正な審査を通じてその基盤を支えていく必要があります。

その一環として、組織の力に加え、地域の力を積極的に活かしていく必要があります。地域との協働や支援の機会を重ねていくことは、私たちの運動が地域にとって価値あるものであることを社会に明確に示すものであり、信頼に応える姿勢を体現する機会でもあります。

私たちは、まちづくりを担う一員として常に自らの取り組み方を問い直し、より良い行動と判断を積み重ねていかなければなりません。限られた人・時間・予算といった力をいかに活かし、どのような価値をまちに届けていくのかを常に探求し続けることが重要です。この一連の過程において透明性と説明責任を徹底し、地域との共栄を深めることで、次世代へつながる信頼を育むことができます。

私たち自身が誠実さの象徴となり、先輩諸氏の築いた信頼の礎を大切にしながら、組織基盤をさらに強化し、確かなかたちで次の世代へ受け渡してまいります。

一円に宿る責任
誠実さで信頼を次の世代へつなぐ

【運動を支える見えない力】

組織の運動が力強く前進するためには、仕組みやルールの整備だけでなく、安心して意見を交わせる「心理的安全性」のある環境が必要です。各々の立場と責任を尊重しながら、率直な意見交換ができる環境こそが、より良い運動を生み出す原動力となります。

例会での姿勢、資料の整え方、議事の進行、そして普段の行い、一見すれば些細なことのようでも、それらの積み重ねこそが「この組織は信頼できる」という評価につながります。

形式に偏ることなく、組織の型を整えることは、自由な発想や果敢な挑戦を支える器となり、まさに届く運動の輪郭をかたちづくりします。私たちは、自由と規律の両立を大切に、札幌青年会議所の品格と信頼を未来へとつないでまいります。

声が届く組織に、力が宿る
対話が信頼を生み、運動を前に進める

【結びに】

札幌青年会議所は、私にとって人生を変えた原点です。ここでの出会いと学び、そして挑戦の積み重ねが、今の私をかたちづけました。だからこそ、地域に根ざした運動は特別な誰かだけの使命ではなく、私たち一人ひとりが「自分ごと」として向き合うべきものです。覚悟をもって行動を重ねる。その積み重ねこそがまちを動かし、やがて大きな変化を生み出す力になると確信しています。

何も変わらないのは、ただの衰退ではない
自らの手で時代を牽引していく

私たちは札幌というまちを選び、この地で生活しています。まちを想い、挑戦をした先に、明るい未来への道が拓かれていきます。

札幌を想うすべての人とともに、変化を恐れず歩みを進めることで、希望と笑顔あふれ心が響きあうまちとなり、次の世代へと希望をつなぐ運動の原動力となるのです。